

施策番号	1603		
施策名	高齢者を支えるネットワークの推進		
概要	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するために、地域による見守りのネットワークを推進するとともに、生活上の安心・安全と健康の確保に向けたサービスを提供する地域包括ケアシステムの構築を図る。		
担当局・部室	保健福祉局・健康長寿のまち・京都推進室	共管局・部室	
上位政策	16 高齢者福祉		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市民長寿すこやかプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	老人福祉員訪問者数(人)	b	a	34,780	34,606	34,780	99.5%	b	1.00
2	地域包括支援センター相談件数(件)	b	a	281,315	281,004	295,381	95.1%	b	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	a	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度回答						
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1	高齢者が地域で見守られ支えられて、安心してらせるまちになっている。	c	c	31	158	275	139	59	662	c
				4.7%	23.9%	41.5%	21.0%	8.9%		
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
		c	c	市民生活実感調査総合評価						c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	b	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) この施策は、対象となる市民が一人暮らしの高齢者等に限定されているため、効果が市民の生活実感に反映されにくいことから、客観指標総合評価を重視する。						平成30年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 <input type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input checked="" type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・老人福祉員による訪問者数及び、地域包括支援センター相談件数は前年度並みを維持しているが、こうした高齢者を地域で見守る取組に対する認知や理解が当事者である高齢者層以外には十分に広がっていないことから、約4割の方がどちらとも言えないと回答していると考えられ、昨年度に引き続きc評価となっている。						平成29年度	B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		平成30年度 決算額	令和元年度 予算額		
1	緊急通報システム事業	148,193	146,600	良い	保健福祉局
2	シルバーハウジング生活援助員派遣事業	3,112	3,189	良い	保健福祉局
3	配食サービス事業	88,012	98,514	良い	保健福祉局
4	配食サービス事業(60～64歳)	1,466	1,888	普通	保健福祉局
5	単身高齢者万一あんしんサービス(仮称)	0	6,248	—	保健福祉局
6	老人福祉員設置事業	39,727	45,828	良い	保健福祉局
7	地域包括支援センター運営事業	1,654,884	1,716,612	良い	保健福祉局
8	一人暮らしお年寄り見守りサポーター事業	1,269	1,589	良い	保健福祉局
9	地域包括支援センター運営事業(地域における在宅医療・介護の連携(在宅療養)推進事業)	5,795	6,444	良い	保健福祉局
10	在宅医療・介護連携の地域展開	77,042	131,214	かなり良い	保健福祉局
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・高齢者が自ら望む地域で安心して生活できるよう、高齢化率の上昇や単身世帯の増加といった状況を踏まえたうえで、老人福祉員活動の推進、地域包括支援センターの機能充実、これらの活動の周知に取り組むとともに、高齢者を支える地域の関係機関等のネットワーク構築を図る。

施策名	1603	高齢者を支えるネットワークの推進				
-----	------	------------------	--	--	--	--

指標名	老人福祉員訪問者数（人）					
-----	--------------	--	--	--	--	--

担当課	健康長寿企画課	連絡先	7 4 6－7 7 1 3			
-----	---------	-----	---------------	--	--	--

1 指標の説明

老人福祉員が訪問している一人暮らし高齢者数

2 指標の意味

高齢者を支えるネットワークの構築がどれだけ進んでいるかを示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	34,780	34,606	174人減	34,780	過去5年間の最高値（平成29年度）	99.5%

	全国順位	中長期目標				備考 (参考：過去5年の指標数値) 平成25年度：33,855人 平成26年度：33,762人 平成27年度：34,752人 平成28年度：34,588人 平成29年度：34,780人
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						

5 評価基準

最新の数値を過去5年間の数値と比較して、
a：最高値以上
b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上
c：上中間値未満～平均値以上
d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上
e：下中間値未満

6 基準説明

過去5年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。

最高値：34,780人（平成29年度）
平均値：34,347人
最低値：33,762人（平成26年度）

7 評価結果

平成29	平成30	令和元
b	a	b

指標名	地域包括支援センター相談件数（件）					
-----	-------------------	--	--	--	--	--

担当課	健康長寿企画課	連絡先	7 4 6－7 7 3 4			
-----	---------	-----	---------------	--	--	--

1 指標の説明

地域包括支援センターへの年間相談延べ件数

2 指標の意味

地域全体で高齢者を支えるネットワークの構築状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	281,315	281,004	311人減	295,381	前年度実績の5%増の数値	95.1%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						

5 評価基準

単年度目標に対する達成率が
a：100%以上
b：90%以上100%未満
c：80%以上90%未満
d：70%以上80%未満
e：70%未満

6 基準説明

積極的な対象者の発見を重視し、目標値の100%以上をaとし、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

平成29	平成30	令和元
b	a	b